

1988.3.3
No.2769

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

「私なら2-3分で食事できる！」

— 反動河野車務課長の暴言を許すな！ —

2/24団交

一週間の教育と仕業検査ができるか
二月二十四日、「六三・三」申十五号、十六号
に關する団体交渉が開催された。

団交のなかでは、まずたった一週間の教育で、
電車の車両技術係に気動車の仕業検査をおこなわ
せようという運転保安無視の無謀な計画（日刊二
月 日付参照）に対し、組合側から、教育訓練
について、①教育の内容が明確になっていない、
②教材が整っていない、③三七形式についての知
識が全くない、④当該者は気動車の検査経験がな
い、⑤見習訓練を指導した者から見て技術的に無
理である、等々の具体的な指摘をおこない、回答
を求めた。

しかし、当局は具体的な回答は一切おこなわず、
「一週間の見習教育で技術力は確保されるので問
題はない」と強弁し、その根拠として「二十年前
に検修係のため気動車科を出ているので感を取り
戻せばよいものであり、一週間で十分である」「
不安なら自分で勉強すべき」「教育になんら問題
はない」と居直ったのである。
無責任を重ねる、回答ならざる回答である。こ
れは、何かあれば現場労働者に責任を転嫁すれば
いいというやり方である。こんなことを断じて許
すわけにはいかない。

「私なら2-3分で食事できる」
反動河野（車務課長）の暴言許すな
また、動力車乗務員の食事時間の確保の要求に
対して、河野車務課長は「私なら2-3分で食事
はできる」と言い放ち、「個人差の問題であり、

一時間の休養時間でW仕業！

しかも深夜帯！ 千葉運転区当局の暴言！
二月二十六日、千葉運転区において、一勤務を
終了してからわずか六十六分で次の仕業に乗務さ
せるといふ、まったく運転保安を無視した無謀な
ことを行ったのである。

乗務割交替作成規程でも、在宅休養時間は、「
一勤務終了して、次の勤務に就くまでの時間は、
その労働時間（待合せ時間を除く）にほぼ等しい
時間とする。ただし、乗務状態により必要がある

運転保安 無視許すな

場合は短縮することがある」とされているのであ
る。
千葉運転区における経過は、十九時二十二分か
ら〇時五十四分までの前仕業に対し、二時から次
の勤務（凍結臨）に就かせたのである。深夜帯に
おいて、わずか六十六分の休養時間で二仕業を乗
務させるといふこんなデタラメな当局の運転保安
無視、労働強化を断じて許すことはできない。

3.8定期委員会

（とき） 3月8日13時
（ところ） 労働者福祉センター

3.27三里塚

（とき） 3月27日10時
（ところ） 旧・成田運転区集合

全力で結集を！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！